

「学童保育士・基礎」カリキュラム もくじ

はじめに	3
第1章 学童保育概論 石原剛志	8
1 学童保育の目的と役割	8
2 日本の学童保育の歴史	11
3 児童福祉法における学童保育制度、放課後児童健全育成事業について	15
4 放課後の施策等と学童保育	19
5 子どもの権利としての学童保育を求めて	22
第2章 学童保育の保育内容と指導計画 二宮衆一	27
1 「遊び及び生活の場」としての学童保育	27
2 学童保育実践の固有性と「生活づくり」	28
3 現代の学童保育の内容論	29
4 指導計画の必要性	32
5 学童保育の指導計画	33
6 指導計画の改善	41
第3章 学童保育士論 植木信一・前田美子・楠 凡之・二宮衆一	43
はじめに	43
I 「放課後児童クラブ運営指針」等からみた学童保育指導員の職務内容と倫理	44
1 学童保育指導員の職務内容と専門性ー放課後児童クラブ運営指針から	44
2 学童保育指導員のおかれている現状	48
3 学童保育指導員の倫理	49
4 職務における指導員の連携	51
II 学童保育指導員の置かれている現状と「学童保育士」資格の意義	54
1 専門職としての労働条件を欠く学童保育指導員	54
2 学童保育指導員の職務内容と専門性	56
3 「学童保育士倫理綱領」と専門性	59
おわりに	61
第4章 社会福祉概論 福祉としての学童保育 垣内国光	69
1 学童保育指導員が社会福祉を学ぶ意味	69
2 自由、民主主義と社会福祉	72
3 基本的人権思想のもとで生まれた福祉思想	76
4 これからの学童保育	79
第5章 児童福祉概論 増山 均	82
はじめに	82
1 児童福祉の枠組みー「児童問題」の解決のしくみ	83

2	児童問題とは何か	85
3	児童福祉の法体系を学ぶ	86
4	児童福祉行政・機関ー児童福祉サービスの窓口	91
5	児童福祉施設・事業と児童福祉関係職員ーサービス提供の場とその担い手	92
6	児童福祉政策ー新しい児童問題に光を当て課題化する	94
7	児童（子ども）の権利ー児童問題を捉え、児童福祉を支える基本視点	98
8	学童保育に求められる子ども観	103
	おわりに	104
第6章	遊び・文化の指導	代田盛一郎 105
	はじめに	105
1	学童保育の子どもたちと遊び	106
2	学童保育の子どもたちと文化	115
3	遊び・文化の指導の配慮事項	118
第7章	生活と集団づくりの方法	船越 勝 121
1	子どものなかでのいじめ・暴力の広がり	121
2	子どもの暴力行為の増加の背景	123
3	学童保育における生活のとらえ方	125
4	集団づくりをどうとらえるか	128
5	「ケアと応答の関係」を紡ぎ出す	129
6	遊びと癒し	131
7	子どもの発達と集団の発展の相互作用を創る～個と集団をつなぐ	132
8	学童保育実践を起点としたつながりの取り戻し	134
第8章	指導・支援方法論	福田敦志 136
I	学童保育実践における指導の意味と意義	136
1	学童保育「指導」員であることの意味	136
2	「指導」することの子ども観	137
3	学童保育「指導」員であるための条件	139
II	学童保育指導員の専門性の内実とその形成	140
1	学童保育指導員であることの独自性と専門性	140
2	学童保育指導員の専門性の核としての自治の指導	141
III	学童保育実践を構想することと研究することとのあいだ	144
1	実践を研究することと学童保育指導員	144
2	実践を研究する場としての実践検討会とその課題	145
3	学童保育指導員で在り続けることと専門性	147
第9章	学童保育の食と健康・衛生	小川雄二 148
1	学童期の食事・栄養と健康	148

2	学童期の食育	153	
3	食物アレルギー	158	
第10章	家族（家庭）支援論	植田 章	163
1	学童保育における家族支援	163	
2	保護者理解 保護者との信頼関係を築くために	165	
3	伝え合い・気づきあうための方法と技術	168	
4	専門機関につなげる	173	
5	子どもの福祉、ひとり親家庭の制度	175	
第11章	実践記録論	宮崎隆志	178
	はじめに	178	
1	学童保育における記録	179	
2	実践記録の方法	182	
3	保育実践記録を実践に発展に結び付ける	186	
	おわりに	188	
第12章	学校教育概論	田沼 朗	190
1	学校とはなにか	190	
2	戦後学校教育の原理・・・基本的人権としての教育	194	
3	教育課程と学習指導要領	196	
4	教育行政制度	198	
5	子どもと学校を巡る問題の深刻化と学校改革のゆくえ	200	
第13章	学童期の発達と心理	小川絢子	202
1	学童期の発達と心理を学ぶ理由	202	
2	乳幼児期の発達と心理	202	
3	低学年（6歳～8歳頃）の発達と心理	208	
4	中学年（9歳、10歳頃）の発達と心理	211	
5	高学年（11歳、12歳頃）の発達と心理	213	
第14章	障害を持つ子どもへの理解と支援	楠 凡之	217
1	障害をもつ子どもたちへの支援の課題	217	
2	ADHDの子どもに対する理解と援助	221	
3	自閉症スペクトラム障害(ASD)への理解と援助	224	
第15章	困難な養育環境にある子どもの理解と援助	楠 凡之	236
1	養育環境での「特別なニーズ」を持つ子どもの事例	236	
2	被虐待状況に置かれている子どもたちへの理解と援助	237	
第16章	小児保健	山崎嘉久	247
1	子どもの体と成長発達	247	
2	学童期の生活習慣と健康	252	

3	学童期の問題行動とこころの健康	261
第17章	子育てネットワーク論	志藤修史 267
	はじめに	267
1	学童保育所におけるネットワークの特徴	268
2	活動の組織化や協力連携（ネットワーク）を進めるための基本的な考え方	271
3	学童保育所におけるネットワークの実際と協力・連携する組織や団体	275
4	おわりにー課題の明確化と解決に向けた運動的側面での取り組み（ソーシャルアクション）	279
資料編		281
	児童憲章（全文）	282
	児童福祉法（抜粋）	283
	子どもの権利に関する条約（国際教育法研究会訳）（抜粋）	285
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準	288
	放課後児童クラブ運営指針	293